

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和元年7月31日

施設名	青少年体育館	所管課	教育委員会生涯学習課
-----	--------	-----	------------

1 施設の概要

指定管理者名	(特非)高知県青年会館	指定期間	平成27年4月1日～令和2年3月31日
施設所在地	吾川郡いの町八田1767		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用の許可に関する事 ・施設及び設備の維持管理に関する事 ・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関する事 ・主催事業を計画し、実施すること <p><平成30年度主催事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生スポーツ教室(卓球、新体操、バレーボール、バドミントン、バスケットボール) ・体づくり教室(スカッシュバレー、卓球、バレーボール、バドミントン、ラージ卓球) ・小学生男女バドミントン教室(チーム名:天王バドミントンJr) ・第21回高知県小学生ドッジボール秋季大会 ・青少年体育館スポーツ交流会 ・スポーツ鬼ごっこ教室 ・初心者トレーニング講習 など 		
施設内容	<p>青少年の健全育成及び県民の健康増進並びに体育の振興を図り、併せて社会教育活動の用に供することを目的としている。</p> <p>利用開始日:平成3年12月1日</p> <p>建築物:鉄筋コンクリート一部2階</p> <p>施設概要:</p> <p>1階アリーナ 1,728㎡</p> <p>バスケットボール2面 バレーボール3面</p> <p>バドミントン10面 卓球15台</p> <p>ハンドボール1面 テニス3面</p> <p>トレーニング室 144㎡</p> <p>会議室72㎡×2室</p> <p>更衣室・シャワー室</p> <p>2階観覧席 1,500席</p>		
職員体制	職員:館長1名 事務長1名 副館長1名 指導員3名 事務員1名 <u>合計:7名</u> ※館長・事務長は高知青少年の家と兼務		

2 収支の状況

(単位:円)

		H29年度(決算)	H30年度(決算)	R1年度(予算)
収入	県支出金	37,717,000	37,951,000	37,836,000
	事業費収入	603,546	484,324	650,000
	収入計	38,320,546	38,435,324	38,486,000
支出	事業費	537,808	508,314	680,000
	管理運営費	15,828,964	16,783,357	16,934,000
	人件費	19,404,982	18,416,692	18,022,000
	消費税	2,548,057	2,726,961	2,850,000
	支出計	38,319,811	38,435,324	38,486,000
使用料収入		4,553,430	4,204,910	4,428,000

3 利用実績

(1)利用団体数

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平均
団体数	1,575	1,508	1,553	1,830	1,482	1,590

(2)利用者数

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平均
人数	65,964	60,926	65,449	70,484	58,630	64,291

4 業務の評価

項目	施設からの状況説明に対する評価・意見
①利用拡大のための取り組み	<p>平成29年度新規開発プログラムのうち、スポーツ鬼ごっこトレーニング講習会の2プログラムを継続開催した。スポーツ鬼ごっこでは、基礎体力、コミュニケーション力、想像力の向上を目的としており、社会教育・生涯スポーツへと発展させてほしい。トレーニング講習会は、近年の健康志向によりニーズが高く、また、各年齢層に応じた事業展開が期待できる。そして、地域の自主スポーツクラブの練習に指導員が積極的に支援を行っていることも評価したい。</p> <p>指定管理者である青年会館事務局長が県外大学を訪問し、合宿誘致を行っている。学校との連携では、中学校の職場体験実習の一環として、生徒を受け入れている。また、いの町と連携し、各種スポーツ大会を共催しており、地域型総合スポーツクラブの「いのスポーツクラブ」の普及の一助を担っている。</p> <p>一方で、利用者の少ない時間帯(金曜日の午前)に主催事業を入れるなど計画中の取組をぜひ具体化してもらいたい。</p> <p>また、利用状況の混雑・空き状況をホームページで確認できるようにしてほしい。次回のホームページ改修時には、体育館のホームページを新設し、混雑・空き状況も一目で分かるようになることを望む。</p>
②利用者へのサービス向上のための改善策	<p>各競技大会を通して、団体の代表者や関係者と意見・情報交換をするようにしており、その中でニーズや課題の把握ができています。</p> <p>また、定時の館内巡視等の中で利用者とコミュニケーションを取り、情報収集に努めている。指導員との会議を定期的を持ち、利用者ニーズ等について話し合う機会を持っている。ニーズが多かった女性向けのトレーニング講習会を開催して、要望に応える努力をしている。今後も、スタッフの専門性の向上に向けた取組を進展してもらいたい。トレーニング講習は輪番で担当し、対話力やコミュニケーション力を育成している。</p> <p>その他にも、体育館内外の清掃や器具庫の整理整頓を心がけ、清潔な施設づくりを徹底している。</p> <p>課題として挙げられる点は、いの町と災害時避難所としての体制整備をしているが、備蓄品などが十分とはいえないこと、トレーニング機器の老朽化が激しく、最新型に更新できていないことにある。</p>

<p>③施設の運営について</p>	<p>定期的に打合せ会議を行い、職員個々の思いや提案を出し合い、士気向上に努めている。念願であったアリーナの床の全面改修ができたため、利用者からも評価が高い。</p> <p>小学生スポーツ教室の参加人数が減少傾向にあるが、よりスポーツの楽しさをPRして参加者増に努めている。</p> <p>施設の老朽化が目立つが、館内外を清潔で安全に保つよう努力している。大会時に使用した入場用スリッパを必ずタオル等で拭き清潔に保っている。館外の草刈、樹木の剪定を職員で定期的に行っており、職員自らが施設管理に尽力している姿が評価できる。</p> <p>「体力づくり教室」に参加している各団体に体育館内外の清掃を呼びかけ、約30名の参加があった。施設に愛着を持ってもらえるよう、定期的な行事として定着することを期待する。</p> <p>始業前、利用時間中、終業時など、危険な箇所がないかの点検を徹底してほしい。</p>
<p>④利用実績</p>	<p>利用については、土日は大会、平日は午後から夜間にかけて殆ど毎日満杯状態である。同じ時間帯に利用申込みが集中するため、一つの団体は月に1回程度の利用になるよう、利用回数を施設側で調整している。健康志向の高まりでトレーニング室の利用者が、29年度9,276名から30年度10,479人と初めて10,000人を超え、登録者数も2,699名となった。</p> <p>今年度はアリーナの改修があったため、全体の利用者数は減少しているが、来年度は期待できるものと思われる。</p>

⑤収支の状況	<p>平成29年度と比較して、施設使用料収入は348,520円減少している。(アリーナ改修期間があるため)</p> <p>管理代行料は、予算額を全額執行した。 平成30年度決算額(県支出金): 37,951,000円</p>
総合評価	<p>「青少年の健全育成並びに県民の健康増進及び体育の振興を図り、併せて社会教育活動の用に供する」という基本理念のもと、「子どもたちの基礎体力やコミュニケーション力・創造力を鍛える施設」「利用者、来場者から信頼される施設」「職員がやりがいがあると感じる施設」を目指して取り組んでいる。青少年教育施設としての意義を考え、より利用される施設となるよう職員間でアイデアを出し合い、それを実現しようとしている点は素晴らしい。</p> <p>1年間頑張れる、挨拶ができる、相談ができる子どもを育成することに力を入れた結果、多くの子どもたちが最後まで参加でき、皆勤の子どもには賞を授与した。</p> <p>アリーナの改修工事によって平成30年11月及び12月に利用ができなかった分、利用者数は減少したが、夜間の体育館使用率及びトレーニングジムの稼働率はきわめて高い。今後、高齢者を対象とした地域住民の健康増進にかかる事業に着手することで、さらなる利用者の増加を図ってほしい。</p> <p>A トレーニング器具が老朽化しているが、職員のメンテナンスにより事故もなく運営できている点は大いに評価できる。以前からトレーニング器具の更新要望が多く、対応が必要と考える。また、照明が暗いとの声もあり、LEDに取り換えるなどの方策が必要である。</p> <p>平日午前中の利用を促進することが今後の利用者数増の鍵であり、公民館や敬老会との連携による新事業の開拓を期待する。</p> <p>そのためにも、施設利用促進につながるホームページの設置を望む。特に利用状況や混雑状況が一覧で見えるような工夫をしてほしい。</p> <p>職員には施設を管理する能力と、企画立案・実践能力の2つのスキルが求められる。職員の能力向上のための研修や視察、またコミュニケーション促進のための職場内ミーティングは継続してほしい。</p>

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

※「施設からの状況説明に対する評価・意見」欄には、各施設の品質向上及び利用者拡大に向けて、①から⑤までの項目に沿って、努力成果が見える点や改善が必要だと感じる点、その他特記事項をご記入ください。

また、他の参考になるような業務改善の取組については、総合評価欄にご記入ください。